



# 東播磨OB会だより

## ボランティアから担い手へ

東播磨OB会 会長 塩澤 岩光



平成27年度にOB会を見直しました。会員が減少し、活動参加者も少なくなり、現役の500人委員応募者、修了者も僅かしかいない危機感からでした。結論は、組織を活性化し、他に存在感を示し、会員を増やしていくために、東播磨全域で会員全員と多くの青少年と住民が参加する「新たな、魅力ある事業」に取り組むことを決定しました。その一環としての「OB会員交流事業」と「プレゼン事業」の充実も決めましたが、魅力ある事業決定に至りませんでした。

昨年度「サマーフェスティバルin加古川大堰」を決定実施しました。実績は1年しかありませんし、改善も必要ですが、みんなで英知を結集して継続していきたいと思っています。

平成31年度は、500人委員修了者32名が入会し、新たに16期生に34名が応募してくれました。見直しの成果はあがっています。新しい会員により、マンネリ化傾向のOB会に新しい旋風を吹かせて頂き、存在感のあるOB会になれたらと思います。私たちOB会員は、ボランティアとしてOB会活動に取り組んでいますが、「県民運動の担い手」として自負しています。担い手は、ボランティアよりも一歩進んだ任務と使命感を持つものと思っています。みんなで「県民運動の担い手」を目指して大きく羽ばたいて行きたいと思えます。



サマーフェスティバルin加古川大堰 イベント実施



サマーフェスティバルin加古川大堰 子どもたちの魚とり



加古川河川敷 グラウンドゴルフとバーベキュー



グリーンヒルホテル明石 プレゼン発表会と懇親会

## 播磨

## 【ブロック・イチオシ】

～はりまこの1年～

今年度関わった行事を振り返ります。6月播磨南小学校の学童対象に防災授業開催。津波絵本に始まり、避難経路で自販機やブロック塀のそばは通らない等、危険箇所を把握することや防災クイズを班で相談・発表をしてみんなで参加してもらいました。また、公衆電話の掛け方を知らない子どももあり、新鮮な項目となりました。11月には大中遺跡まつりで約100名の子どもたちに、牛乳パックブーメランを作ってもらいその場で飛ばして喜ぶ姿を嬉しく見せてもらいました。

防災授業とブーメランを通じて子どもたちは自らを採点していました。今後さまざまな危険に対応できることに期待します。

第13期生 中島 智子



## 加古川

9月29日(日)に、尾上公民館にて、「わかば学園の50周年記念式典」が行われました。学園は1969年10月11日に開園し、今年でちょうど50周年になります。前日は、映画「星に語りて」の上映会場の準備手伝い。そして当日は、多数の来賓と学園の関係者が

参加して、学園の50周年を祝いました。式典のセレモニーのあと、昼食は園生の保護者によるカレー＆サンドイッチ。

午後からは学園50年の歩みを、スクリーンの写真と共に振り返りました。その後園生による歌や、かしわもちさん（明石在住の全盲の高校生で嘉門達夫さんの弟子）によるミニコンサート。また、加古川在住の隅野由子さんの作品展や販売などもあり、大変に楽しい1日となりました。

第6期生 布谷 英治



園生による合唱



ココロンクラブ交流会

## わかば学園50周年記念



## 高砂

車目線・速度ではなく、歩く目線・速度で町を歩き、自分の町を再発見するという目的で、『あなたは高砂の町名とその由来を知ってる?』と題し、史跡石柱・町名由来板巡りの高砂再発見ウォーク in 高砂地区を12月8日に開催しました。私は、子どもたちは今、個人情報という名の下で、付き合いが希薄になっているのではと感じ、親子ふれあい再発見ウォークで町や友達の住んでいるところを知り、少しでも改善できないかと小学校にチラシを配布しましたが、私と妹と母のみが親子で参加という結果でした。挨拶後、播州弁ラジオ体操をしてから出発。29の町名由来板の一部巡りをし、県民交流広場をゴールとし、多くのメンバーが手伝っている『高砂来て民家』祭りに合流しました。

第7期生 高橋 賢吉



# 稲美



去る5月1日、「令和」が新元号となるや、一時日本中が沸き立った。

ここ稲美町においても、万葉の森公園に元号のもとになった一文があることもわかり、新聞・テレビに取り上げられることとなった。

稲美町恒例の公開セミナーでは、新元号「令和」と私達の「万葉集」と題して船越哲也講師(元稲美中学校長、稲美町文化財保護審議会会委員)を招き講演をしていただきました。

○新元号令和について

はじめて国書(日本の古典)から採られた。「天平2年正月13日師老う(そちらう)宅(いへ)にあつまり、宴会を申(の)ぶ。時に初春の令月、気淑(きうるわ)しく、風和らぐ、梅は鏡前の粉に披(ひら)き、蘭は佩後(はいご)の香に薫…」

第1期生 藤本 操

## “明石小学校放課後教室の始動”

明石ブロックでは15期生のメンバー10名で、明石小学校校長先生の口添えで「放課後教室」を毎月1回、開催しています。

あかし昔話を参考に電子紙芝居「鹿の瀬物語」を制作し、音楽を挿入しメンバーのナレーションで画面の動きを謳えました。子どもたちは、電子紙芝居を真剣な様子で鑑賞していました。工作は、牛パックを利用して「びっくり箱」を作成しながら放課後の楽しみを支援しました。作り方の説明しながら、環境にあった素材で作成した【びっくり箱】から飛び跳ねる駒に歓声が沸きました。

月1回実施しますが、子ども達の居場所づくりに対応し、我々も楽しみたい時間になればと考えております。

第15期生 小山 博

# 明石



## ★★★★★「いいとこ 東はりま【明石】」★★★★★

### 「この味」「この場所」「こんなまち」明石のたからもの

明石の「この味」明石焼(玉子焼き)ふわふわトロトロの食感が人気の秘密です。市内には70店舗あり、作り方やだしの味はお店ごとに美味しさへのこだわりがあるようです。

お気に入りのスポット「この場所」といえば、JR明石駅より東部に位置する天文科学館「時と宇宙の博物館」が、東経135度日本標準時子午線が通る真上に建設されています。今年、開館60周年を迎えます。また、「時のまち」として、市内には時や子午線にまつわるユニークな標識や標柱(トンボの標柱・日時計等)があります。昨年、築城400周年を迎えた明石城。長さ380メートルの石垣から、築城当時の建築技術の素晴らしさを体感できます。お城の石垣の美しさは、全国ランキング第2位に選ばれています。「こんなまち」海のまち。目の前に明石海峡が広がり、新鮮な海の幸・美しいビーチ(大蔵海岸他)としても人気があります。交通の便も良く、四季を通して家族連れや若者たち、観光客で賑わっています。自然、歴史、文化の薫る「やさしいまち明石」を体感してください。

第9期生 島 久子



## “東播磨青少年本部の賞 推薦者の声（東播磨OB会会長 塩澤 岩光）”

### 団体の部:明石ブロック

(代表者 松嶋嘉彦)

ブロック独自の活動として、平成15年から17年間、明石市市民会館の成人式で新成人の和服の着付けの乱れを整え助けている。また、幼稚園児を持つ子育ての保護者の悩み相談にアドバイスする子育てフォーラムを、平成12年から19年間、悩み解決に力を注いでいる。平成24年から8年間出会いサポート事業を、明石市民ホール等で縁結び交流会を開き、ボランティア活動をしています。



### 個人の部:藤原京子さん(明石ブロック 第7期生)

平成25年度から理事に就任し役員として尽力して来ました。平成22年から縁結び交流会をOB会で取組み、毎年2~4回、10年間にわたって成果を上げて来ました。明石ブロックの事業にも積極的に取組み、また、ビジョン委員として平成17年から職業人と語ろう活動に参加。平成15年から8年間、明石スクールガードとして毎朝、子どもに触れ合い、明石市ボランティアに登録して30年。主に青少年を担当する保護司として20年、活躍中です。



## プレゼンテーション

### 介護されない人生も目標！健康情報を交換しましょう！

私自身の長年の体調不良、家族、親せき、友人など身近な人の病気や、施術、手術、薬害等の苦い体験がきっかけで体調(脳や精神面も)を、いつも良い状態に維持したいと、一般食品や、補助食品、体操、健康器具等々を試してきました。驚く程改善が早いものや、半年程続けて改善できたものもありました。

そんな中、体調が改善に向かう体操(体調良好体操)に出会い、資格を取得して、数年前から教室を開設。その傍ら、社会福祉協議会のハートスタッフとして、月4か所のいきいきサロンで、体操やレクリエーション等を担当。

教室には、膝痛や腰痛、慢性病などを訴える人が多く、体操の継続で改善しています。日常生活で、動かさない所や自身の弱い所を動かす体操の重要性を感じています。

いきいきサロンでは、レクリエーションで、皆が自然に声高々に、笑える場面もあり、人が集い、体を動かし、おしゃべりしたり、笑ったり。お陰で、私も楽しい一時を過ごすことが出来ています。

国民医療費が H28 年は 42 兆円。一人当たり 33 万円と莫大な金額です。海外では、何年も前から販売禁止のトランス脂肪酸の油や食品添加物も、日本では当たり前のように出回っています。

健康の為に、いかに正しい情報を入手、勉強、実行していくかが大切だと痛感しています。

その為に、私は、「100歳人生を楽しく」を掲げたセミナーや、脳にエネルギーを送る料理教室、筋肉、骨密度向上の体操に参加し、同じような思いの人達と学んでいます。

色々な活動で、健康情報を得ることができ、健康や認知症の不安も遠のいてきました。

お互いに、脳も体もほどほどに、健康でいられるための情報を交換し、子や孫世代の為に、微力ながら国民医療費軽減に努めたいものです。

一緒に学びたい人、安全な食べ物に興味ある方、一緒に活動しませんか！

第10期生 三宅 節子



体調良好体操



社協いきいきサロン脳トレ



料理教室



コロナウイルスにも!!

こころ豊かな人づくり 500人委員 東播磨OB会

〒675-8566加古川市加古川町寺家町天神木97-1

東播磨県民局地域振興室内東播磨青少年本部 TEL 079-421-9105 FAX 079-424-9977

<http://www.higashi-seishonen.jp/>

—第75号— 2020(令和2)年3月発行 発行代表人 塩澤 岩光